

嘉徳海岸侵食対策工事の説明会 ～ 主な質疑応答 ～

(○参加者からの質問 ●県からの回答)

- 仮設道路はコンクリート舗装をするのか。
 - トレーラー等の走行状況により、必要であるか見極めることと
しています。
-
- 仮設道路の途中にあるガジュマルは伐採するのか。
 - 工事車両が走行する際に支障となる枝払い程度は行います。
-
- 妨害によって工事着手が遅れている。住民のイライラも限界で
ある。今回の工事は令和8年3月までに終わるのか。工事を前に
進めてほしい。住民の思いを受け止めてほしい。
 - 本日の説明会は、住民の皆様にご直接聞いていただくことで、工
事を安全かつ円滑に進めることを目的に計画したものです。
妨害行為があった場合は、法的手段を含めて対処していきます。
いつ大きな台風が来るか分からない切迫した状況であり、一日
も早く護岸を完成するよう取り組みます。協力をお願いします。
-
- 今回の工事でどれくらい砂浜を掘るのか。また、掘った後の砂
はどうするのか。
 - 現在の砂浜から約5～6メートル掘ることになります。また、
掘った後の砂は、大型土のうに詰めて仮設工事に利用したり、海
岸に仮置きすることとしており、現時点では海岸部から外には持
ち出さない計画です。ただし、工事を進める中で変更する場合も
あります。
-
- アダンを植栽するのか。植栽するアダンはどこから持って来る
のか。
 - 最終的に、護岸前面にアダンを植えることとしています。
植栽するアダンについては、海岸部のアダンを移植する計画と
しています。

- 今回の護岸工事は、暫定断面での施工となっているが、今後の計画はどうなっているのか。
- 今後の計画については、予算やウミガメの産卵時期に配慮し、施工時期が限定されていることなどを踏まえて決めることになります。
いずれにしても、計画している 180 メートルについては、最終的に完成断面（説明会資料 P 2）で工事を行います。

-
- 先日、ウミガメが護岸の計画位置に産卵したが、護岸のセットバックは考えないのか。
護岸の前の砂浜が洗掘されたらウミガメが産卵できなくなる。この工事は、世界自然遺産の主旨に反しているのではないか。
 - 護岸の位置は変えません。
護岸は元々砂丘があった位置に計画されており、波打ち際から距離もあるので洗掘される恐れは無いものと考えています。
もし仮に洗掘されることがあれば、砂の回復状況を見ながら、再び砂で覆うなど適切な維持管理をしていきます。
（護岸前面を砂で覆い、アダンを植栽することとしているため、ウミガメの産卵への影響は小さいと考えています。）
世界自然遺産の主旨に反していないと考えています。

-
- 嘉徳川が蛇行することがあるが、川をいじるのか。
 - （蛇行した場合でも、工事箇所との間に十分な距離があるため、）川を触ることはありません。

-
- 妨害行為への対応について、先日の作業では警備員を配置していたが、妨害対策はどうするのか。
 - 今回も警備員を配置して工事を進めます。
作業予定も示しながら、安全に工事を進めていきます。

-
- 今回は墓地の前を工事するとのことだが、土地が崩れないような対策は行うか。
 - 墓地付近の地盤状況を確認しながら工事を進めます。
状況を確認し、補強が必要と判断される場合には、必要に応じて補強工事を行いながら、安全に工事を進めていきます。